ASSOCIAÇÃO CENTRAL NIPO-BRASILEIRA NOTÍCIAS E INFORMAÇÕES





■一般社団法人 日本ブラジル中央協会



世界の未来を、ブラジルとつくる。

[Business innovation-1]

旅客鉄道事業に参画、400万人の市民の足を担う。 オデブレヒト・トランスポート社と共に、都市交通インフラを整え、都市の発展に貢献。

[Business innovation-2]

水力発電事業により、CO2排出の少ないエネルギー開発を推進。 川の自然な流れを活かす流れ込み式水力発電事業を通じ、約1千万人分の電力を大都市圏へ供給。

[Business innovation-3]

ITを活用した教育事業で、次世代の人材育成に貢献。 オンライン教育事業のギーキー社に出資参画。一人ひとりの効果的な学びをサポート。

世界の未来を、世界とつくる。三井物産



MITSUI & CO.

(ブラジル・ナウ) 1988年と2018年の間[鈴木茂] ……… 5 【特集】若手が引っ張る日伯ビジネス JCI(ブラジル日本青年会議所)35 周年 [中野マルシア] … 6 【特集】若手が引っ張る日伯ビジネス サンフランシスコ河中流域における灌漑農業の発展

····· 目 次 ·····

【特集】若手が引っ張る日伯ビジネス ブラジル事業とブラジルコスト 駐在1年目の悲喜こもごも [藤江洋介] ………… 10

【特集】若手が引っ張る日伯ビジネス ブラジルで仕事をするとは 駐在1年目に思うこと [堀越星架] …………… 11

ブラジルが汚職体質になりやすい理由 [沢田太陽] … 12

(日系企業シリーズ・第51回)

ブラジル住友商事 逆風のなかでの事業展開 [富島寛] ------ 13

ブラジルにおける模倣品対策[ホベルト・カラペト] 14

連載★税務の勘どころ

ブラジル入出国時の税関の基本ルール [都築慎一] 15

ブラジルのほぼ全土をセミナーで制覇[堀静雄] …… 16 ブラジル在住 63 年、アマゾンからサンパウロへ

(ジャーナリストの旅路) ゲバラ、アマゾン川を下る [原田勝広] ……… 17

コメディアンにして作家、マルチ芸人ジョー・ソアレス 刊行された自伝(上巻)、たちまちベストセラーへ

新刊書紹介 20 (びっくり豆知識)「南米のポピュリズム、本当に退潮?」・・・・・・・ 20

協会からのお知らせ …………………… 21



Eに退社後渡米し、独立。ニューヨーク在住。

カンボリウ Camboriú

サンタカタリーナ州の沿岸都市カンボリウは、 コスモポリタン精神を有する保養地として知ら れる。オフシーズンの人口は13万人ほどだが、 夏のピークシーズンになると観光客が多数到来 するため 100 万人に達するほどだ。観光客とい うと、ブラジル各地からはもちろん、アルゼンチ ン、チリ、パラグアイといった南米諸国のほか欧

カンボリウの社会イ ンフラは整っており、 交通事情、公衆衛生、 治安、いずれも不安は ない。昼間であれ夜で あれ、時間帯に関係な く、街の中を安心して 散策できる。

州各国からも多い。

最大のチャームポイ ントは、美しい砂浜が 10以上もあることで、 そのなかにはヌーディ スト・ビーチもある。 目当てのセントラル・



ビーチは、くびれた湾の形状をした海岸線と静か な海で知られるが、内側には大西洋森林帯が広が り、その豊かな生物多様性を象徴する、ブラジル の国鳥ツカーノ(オオハシ)も見られる。隣のラ ランジェイラス海岸とつなぐロープウェーのゴ ンドラからみる絶景は、見る者をしびれさせる。 ウインドーサーフィンのような水上スポーツも

観光客をあたたかく歓待するカルチャーを有 するカンボリウ住民の多くは、実は、地元出身で はなく、ブラジル各地から移住してきた人たち

だ。住民であった筆者の知人の出身地をみても、 リオグランデ・ド・スール、サンパ ウロ、ミナスジェライス、バイーア、 ペルナンブーコ、リオ、と多彩だ。 近年急成長したカンボリウの特徴の 一つが、モダン建築群であり、特に 170メートル以上の超高層ビルが、 建設中のものも入れると6棟もあ る。こうした新摩天楼はブラジル全 土で10棟しかないので、その6割 がこの街に集中しているわけだ。土 地のスペースが限られているためマ

ンハッタンの如くビルが高層化することになっ たのだが、"副産物"としてビル風や日照権問題 が深刻化しているのも現実だ。

ヴィクトル・ファルボ (二アグロ社営業マネジャー)

グローバル人材の採用なら

日経HRは、日本経済新聞グループの人材情報企業として、新卒向け就職事業、社会人向け 転職事業、キャリア教育事業をメインに展開しています。

日経HR独自の情報に加え、日本経済新聞社や日経BP社のコンテンツをベースに就職活動、 学び、スキルアップ、キャリアデザイン、転職などのHR(Human Resources) 情報を インターネットや出版、イベントなどのクロスメディア展開により発信していきます。

日経キャリアNET

社会人のための転職サイト。日本経済新聞や日経・電子版、日経BP社の各種 専門媒体を入り口としたビジネスに意欲の高い求職者と、人材を企業戦略の 中核と音識する優良企業を結びつけます。



キャリアコンサルティング(人材紹介)

エグゼクティブ、金融、IT系人材を中心に、人と企業をピンポイントで結ぶ人 材紹介事業を展開しています。日経キャリアNETや日経グループ各媒体との 連動やアライアンス・エージェントとの連携など、さまざまなご提案も行って



プロフェッショナル、エグゼクティブのための転職支援サービス





日経アジアリクルーティングフォーラム

アジア9ヵ国のTOP大生を日本へ招待し、面接できるイベントを毎年8月に開 催しています。2014年は北京大学、シンガポール国立大学、チュラロンコー ン大学、インドネシア大学等、103名が来日し30名が内定獲得しました。





日経メディアで複合プロモーション

日経新聞・日経電子版、日経BP専門媒体(雑誌・Web・メルマガ・フォーラム) を活用した日経メディアの複合プロモーションで人材採用活動をお手伝いしま









仕事の先の幸せを創造する会社



お問い合わせ 株式会社日経HR TEL:03-6812-7307 e-mail:webeigyo@nikkeihr.co.jp https://www.nikkeihr.co.jp

1988年と2018年の間

現憲法の制定から今年で30年目

8で終わる年は、ブラジルの歴史の大きな転換点となる重 要な出来事が起きている。1808年にはイベリア半島の領土 を失ったポルトガル王室がリオデジャネイロに移転し、ブラ ジル独立への実質的な起点となった。1888年には奴隷制度 が最終的に廃止され、南北アメリカ全体からすべての黒人 奴隷が消滅するとともに、翌年の共和政移行につながった。 1908年にはサントスに笠戸丸が入港し、アジアからの本格 的な移民が始まり、社会に新たな多様性を加えるとともに、 日系社会の礎となった。そして、1988年には民主化を体現 する現在の憲法、「市民の憲法」が制定されている。

この現憲法が制定されてから今年で30年目を迎える。 1985年3月に成立した民主体制は、重症のハイパーイン フレに大統領の急死や弾劾裁判と辞任などが重なり、最初の 10年ほど混乱が続いたが、1994年の「レアル・プラン」 と 1995 年のカルドーゾ政権の発足を機に、政治的・経済的 安定に向かった。以後、4年ごとの直接選挙で選ばれた大統 領が任期を全うする。とりわけ、2003年には、社会民主党 (PSDB) 政権から労働者党 (PT) 政権への交代が平穏に実現 し、「民主主義の成熟」として注目を浴びた。

ルーラは高成長を謳歌、ルセフには罵声

周知の通り、ルーラ労働者党政権の8年間(2003~2010 年)は、好調な輸出経済と条件付き現金給付(CCT)などに よる国内市場の拡大に支えられて高い成長を達成し、待望久 しかった「未来の到来」が喧伝されることもあった。その間、 2007年10月には2014年サッカーW杯のブラジル招致が、 2009 年 10 月には 2016 年夏季五輪大会のリオデジャネイ 口招致が決定した。デンマークのコペンハーゲンで開催され た IOC 総会で最終投票結果に歓喜するブラジル代表団の様子 が世界に報道されたが、その中心にいたルーラの笑顔は、当 時のブラジルを席巻していた勝利感をよく物語っている。

しかし、これらの国際イベントが開催されるまでの間にブ ラジルの政治・経済は一変した。勝利感は影を潜めていたと 言うと、言い過ぎであろうか。予兆は、W杯前哨戦である 2013年6月のコンフェデレーションズ杯から現れていた。 略奪や破壊行為は別にしても、サンパウロなどの大都市で大 規模な街頭運動が繰り広げられ、不況の中で巨費を投じる政 府に対する市民の不満が噴出した。政権は絶大な人気を誇っ たまま退任したルーラから同じ労働者党のルセフに変わって

おり、開会式に出席したルセフは観衆から罵声を浴びせら れた。その光景は翌年7月のW杯本大会でも繰り返された。 そして、2016年8月のリオ五輪開会式には、ルセフは出席 すら叶わなかった。同年5月に弾劾裁判開始が決定されて職 務停止となっていたからである。代わって出席したテメル大 統領代行も厳しい罵声を浴び、中継していた NHK のアナウ ンサーも一瞬、声を失ったほどである。

1988年憲法では当初、大統領任期は5年と定められてい たが、1994年の改正で4年に短縮された(再選が認められ るのは 1997 年) ので、W 杯とブラジルの大統領選挙が同 じ年に重なることになった。W 杯ロシア大会が開かれる今年 の10月には、大統領選挙の第一次投票が予定されている。 すでに各種メディアが有力候補の支持率調査の結果を公表し ているが、最有力と見られていたルーラは、政権中枢を巻き 込んだ稀に見る規模の汚職事件へ関与したとの容疑で有罪判 決を受け、選挙への出馬が危ぶまれている。

民主化の真価が問われる大統領選挙

各種調査でルーラに次ぐ支持を獲得しているのは、リオ選 出の連邦下院議員ジャイール・ボルソナーロで、すでに日本 のいくつかのメディアでも紹介されているように、「ブラジ ルのトランプ」とも言われる問題発言で知られる元軍人であ る。同性愛や中絶に反対し、土地なし農民運動(MST)のよ うな社会運動を敵視する。また、先住民やアフリカ系の人々 の人権保障や権利獲得運動に冷淡で、先住民保留地を開発へ の障害とみなし、人種平等の実現をめざして導入された積極 的差別是正政策(アファーマティブ・アクション)を「人種 差別|として攻撃する。1988年憲法の重要な成果を否定し かねない姿勢である。

ブラジルには8で終わるもう一つの重要な年がある。 1968年である。前年に軍政下の新憲法が公布され、コスター エ・シルヴァ政権が成立して強権体制を敷いていた。3月に リオで起きた軍警察と学生との衝突と一人の高校生の死を きっかけに学生運動が高まった。5月にはクビシェッキ元大 統領などの反軍政派の政治活動が禁止され、カトリック教会 も軍政批判の動きを見せる。そして、12月13日の金曜日、軍 政令第5号 (AI-5) が布告され、議会閉鎖、行政府への大権付 与とともに激動の一年が終わった。あれから50年。今、ブラ ジルの民主化の真価が問われている。

鈴木 茂 (東京外国語大学教授)

●特集●若手が引っ張る日伯ビジネス

JCI(ブラジル日本青年会議所)35周年





JCIとは

私の名は、中野マルシアである。私は 大学院修士課程で老人介護学を修めた が、理学療法士として在宅老人介護と いう仕事に従事している。2010年から JCI(ブラジル日本青年会議所)の会員 になっているが、創立35周年を祝った 2017年という年に、この青年会議所会 頭を仰せつかるという貴重な体験をさせ ていただいた。「過去に敬意を払い、未 来を力に」をモットーに掲げたが、本稿 では、この素晴らしい活動団体について ご紹介したい。

JCIはNPO(非営利団体)であるが、そ の会員の年齢層は 18歳から 40歳まで となっており、そのミッションは、健全 なる公民権という権利を自覚的に行使し つつリーダーシップ能力を高めていく機 会を会員全員に供与する、というものだ。

JCI の会員は、全員がボランティア精 神に則り行動している。この、目先の経 済的見返りを求めないボランティア精神 によって、この団体の活動が展開されて いく、というチャレンジが為されている のであり、会員各人はプロフェッショナ ルとして自分自身の仕事を抱えながら、 さらには家族問題にも対応しつつ、JCI 活動にも時間を割いてもらっている。こ

> うした社会 参加が会員 活動のモチ

を醸成している。

会頭としての経験から

会頭という任を得た当初、こうした団 体の会頭を務めるには何が重要なのか、 自分にはマネジメントもガバナンスにつ いても能力もなければ経験もないではな いか、と懸念というか不安でいっぱい だったのが実態だった。1年間の会頭職 を終えた今、私の考えは変わった。もち ろん会頭という職務を効率的に管理・執 行するための知識は重要である、という 意見は変わらないが、ボランティア精神 に基づく組織のトップとしての経験から 私が気付いたことは、人と人との間の人 間関係こそが決定的に重要なファクター である、ということだった。

会員全員に対して敬意と愛情をもって 対応し、様々な機会を平等に全員に分け 与え、それぞれの成果に対して正当な認 知と評価を行うことが出来て初めて、会 員たちのモチベーションが向上し、多く の人やコミュニティーに大きなインパク トを与えるようなプロジェクトを実施す ることが出来たのだ。その結果として、

レベルの高いアンガージュマ ン(社会参加)が達成された のだ。これこそが、私が得た、 リーダーシップについての教 訓であり、会頭として私が残 したレガシーだと思ってい ベーション : る。会頭としての任期を終え

実施に向けて動き出しているメンバー達 もいるし、他の様々な団体や企業との絆 を強化できたので、将来も新たな展開が 期待されている。 2017年という私の任期中に私が抱い

た夢の一つは、公的な機関に対してばか りかニッケイコミュニティーの普通の 方々のあいだでも JCI の認知度を上げ ることができないか、というものであっ た。というのも、日本では青年会議所と 聞けば、多くの人がどんな活動団体であ るか知っており、「国の再建のためにボ ランティア精神に基づいて働く若者た ち」の団体として広く認知されているか らだ。我々の JCI ブラジルも、単に表 面的に認知されていることに満足せず、 ニッケイコミュニティーにおける認知度 を一層向上・差別化しよう、という夢で

ニッケイコミュニティー において実施した活動

2017年という年は、ニッケイコミュ ニティーに対する様々なプロジェクトを 活発に展開した年であったので、その一 端を披露してみたい。

その一つが、ブラジル日本商工会議所 とのジョイント企画であった「Brazilian Mind であった。ブラジルに派遣され た日本人(駐在員)を対象に、ブラジル 文化を紹介し、ブラジル社会への適応促 進を目指した講演会を開催した。

さらには、ブルーツリーパーク・リン



Brazilian Mind 参加者

ブラジル日本商工会議所平田事務局長と

スの後援をえて、サンパウロ内陸部のリ ンス市において、日本文化ウイークで 討論フォーラムを開催した。この場で は「日本文化の再獲得とニッケイコミュ ニティーにおける新たなチャレンジ」と いうテーマで自由な議論が展開されたの だ。ニッケイコミュニティーの有識者 有名人にも議論に参加してもらったこと もあって議論は沸騰し、若い世代の参加 者には指針となるような刺激を与えたと 考えている。

リベルダージ地区プロジェクト

こうした JCI が行ってきた活動・ア クションのなかでも、一番強調したいの が「RevitaLiba」と名付けられたプロ ジェクトだった。これは、われわれが 2017年の任期中に成し得た活動のなか でも、先に申し述べた夢の実現に向かっ ているアクションと考えるからだ。とい うのも、リベルダージ地区をきれいにし ようという目標のもとに、老若男女、子 供からシニアまで何百人もの人たちが、 さらには、官庁関係者、企業関係者や駐 在員らが、皆一緒になって行動したのだ から。このアクション全体をコーディ ネートしリードしたのが、ボランティア の若者たちであった。

このプロジェクトは、在サンパウロ日 本総領事館からのアイデアで始まったも のだが、サンパウロにおけるニッケイコ ミュニティー発展のシンボルの一つであ るリベルダージ地区の環境が劣化してい る現状を鑑み、同地区の清掃・美化をや ろう、という発想からだった。この美 化運動を担うのは、ニッケイコミュニ ティーの若者たちであってほしいという ことから、われわれ JCI のリーダーシッ プが求められたのだ。

この「RevitaLiba」のおかげで、そ の核心的ミッションに到達することが出 来た JCI は、自らリーダーシップを発揮 したことで、若者たちが行動し、ニッケ イコミュニティーにおいてポジティブな インパクトを引き起こしただけでなく、

に深めてきた人たちのこれまでの功績に : われわれが認識し配慮しなければならな も応えることになった、と考えている。 このプロジェクトは、JCI が先頭に立っ たが、文協(ブラジル日本文化福祉協 会)青年部、Asebex(日本留学生研修 生ブラジル OB 会)、Interkaikans(各 地の日系団体を結ぶ活動)といった若者 たちが展開している様々な団体・グルー プの協力があったからこそ成功したので あり、その意味では彼らとの共催事業と

SEJAM **BEM-VINDOS**

現在、ニッケイコミュニティーのなか でよく議論されていることは、リーダー シップの刷新によって新しい若手リーダー たちを活性化するべきだ、というものだ。 様々な意見があるが、これまでの世代の 人達(すなわち古い世代)は若手が自主 的に活躍できるような余地を与えず、む しろ阻害している、と主張する人もいる し、そうではなくて、若者たちのほうに 問題があるのだ、自ら取り組む姿勢もな ければ、過去の世代が残したレガシーを 維持するなどのニッケイコミュニティー における活動を継続しようとの意思もや る気もないからだ、という人もいる。

どちらの主張もそれなりに正しいと もいえるし、単なるコミュニケーショ ンの欠如なのかもしれない。そんな議 論はともかく、実際のところ、この 「RevitaLiba」が主体的に示したことは、 ニッケイコミュニティーの内的パワーを: 思っている」とのお言葉を頂戴している 醸成するポテンシャリティーを有し、目 標に向けて関係者を団結させる実行力を 伴う若い世代もいるのだ、ということだ。 しかしながら、多くの若者は家族を構成 し始めている段階であると同時に仕事面 でもプロとしてステップアップしてそれ なりの資産形成もでき始めている段階で あって、そうした家族や仕事での優先マ ターがあるがゆえにこうしたボランティ ア活動に十分な時間を割くことができな リベルダージ地区で日本文化の絆をさら :: いのだ、これが現実なのだ、このことを :: 希望である。(註:原文ポルトガル語、編集部訳)

いのである。

だからこそ、コミュニティーのための 活動に能動的にコミットしてもよいとい う意欲を持つ多くの若者たちがさらに一 層やる気を出すようにするためにも、政 治家なり企業家なり関係当局なりを通じ て、ニッケイコミュニティーは若者たち の活動団体を全面的に支援することが不 可欠である。さらに重要なことは、こう した活動を支える人たちが日系人だけに 限定されているわけではないことを認識 しなければならない、ということだ。す なわち、日本文化に魅入られた非日系ブ ラジル人で、ニッケイコミュニティーの レガシーを継承・保持しようと行動して くれている人の数がここにきて増えてき ているのだ。

今後の抱負

昨年(2017年)は私も他の団体の幹 部の方々と一体になって行動してきた が、われわれが進めてきた仕事そのもの や、その仕事によって得られた結果のお かげで、JCI(ブラジル日本青年会議所) の認知度が素晴らしく向上した。この ため、JCIのシニア会員や元会頭の方々 から「JCI で活躍してきたことを想い出 し、最近の充実した活動には大変誇りに : が、過去の歴史があったからこそ今日の 活動があるのであり、改めて先達の方々 に尊敬の念を抱くものである。最後にな るが、私の将来への抱負を記しておきた い。JCI がニッケイコミュニティーのた めのリーダー養成スクールとしても確立 され、新しい世代の人たちもリーダー シップの世代交代をきちんと行うように なり、他のパートナー団体との関係も強 化していってほしい、というのが、私の

7

- リンス市でのフォーラム

サンフランシスコ河中流域における 灌漑農業の発展



筆者が働く会社は、アセロラ果汁濃縮 を主体とするアグロインダストリーであ るが、本稿では当社が位置する地域の経 済を支えている灌漑農業全般について述 べてみたい。

雇用創出数で サンパウロと肩を並べる

筆者はブラジルの大都市サンパウロか ら約 2,700km 北東の場所にあるペルナ ンブーコの州都レシーフェの、さらに西 の内陸へ約 700km 入ったペトロリー ナという辺鄙な場所に住んでいる。ブラ ジルの経済紙(ヴァロール・エコノミコ 紙)は、このペトロリーナと隣町(ジュ アゼイロ、カーザ・ノーバ) を合わせた 都市の雇用創出者数(12,700名)が、 人口20倍以上もあるサンパウロ市の数 (14,800 名) と並んだというニュース を報じた(集計期間2017年1~10月)。 ブラジル人ですらその存在を知る者の多 くないこの地方都市が天下のサンパウロ に雇用創出数で肩を並べたというこの快 挙は、この地に住む筆者にとっては非常 に喜ばしいニュースであった。当地の主 な産業は「サンフランシスコ河」の豊か な水を利用した灌漑農業によるマンゴー とブドウの輸出である。2014年10月 のルセフ大統領再選後に急激なレアル安 が発生し、これが輸出業者の利益を押し 上げ多くの雇用を生む結果になった。本 稿では、産業の源泉となったサンフラン シスコ河と灌漑農業による経済発展の歩 みについてご紹介していこう。

アメリカ大陸の名付け親、 ペスプッチによって発見された サンフランシスコ河

年に胡椒を求めてインドへの航海を行っ た。このインド遠征時、船団が嵐に遭遇 してブラジルに漂着した。カブラルはブ ラジルに 10 日間だけ滞在し、当初の目 的地であるインドに向かった。その翌 1501年、時のポルトガル国王マヌエル 1世(建築様式の一つ、マヌエル様式で 有名) の命令によってブラジルの探検航 海が行われた。この遠征隊に加わってい たイタリア人航海者のアメリゴ・ベス : プッチは、この航海の結果、コロンブス が死ぬまでインドだと信じていた大陸が ヨーロッパ人に知られていなかった「新 大陸」であることを明らかにした。この : 功績により、ベスプッチが発見した新大 陸は彼のラテン名アメリクスにちなんで 「アメリカ」と命名されることになった。 ... 前置きが長くなったが、ベスプッチはこ... している。 の探検航海において、この稿の主題であ るサンフランシスコ河にたどり着いて いる。ベスプッチが河を発見した 1501 : 年 10 月 4 日が丁度アッシジの聖フラン チェスコの命日であったことから「サン フランシスコ河」という名前が付けられ た。全長 3.180km で、ブラジルでは 5 番目に長い河である。ミナスジェライス に水源を有し、5つの州(ミナスジェラ イス、バイーア、ペルナンブーコ、セル ジッペ、アラゴアス)を横断して大西洋 に流れ出ている。雨の少ない東北伯のセ ルトン(半乾燥地帯)の人々に「命の水」 を供給する重要な河である。

サンフランシスコ河の 畔に発展した2都市

ペルナンブーコ州ペトロリーナは、サ ンフランシスコ河の中流域の畔に発展し た町である。河に掛けられた橋を渡った

ポルトガルの航海者カブラルは 1500 : 対岸にはバイーア州のジュアゼイロがあ る。歴史的にはジュアゼイロの方が古い。 この地域にはジュアゼイロという果樹が 多く自生している。ジュアゼイロは降雨 の少ないセルトンの厳しい環境にも順応 し葉を生い茂らせ、人々が強烈な太陽の 日差しを避けるための日陰を提供してく れる。かつてブラジル南部からきた家畜 の行商人がブラジル北部に向かう時に、 このジュアゼイロの日陰を休憩所として 利用していた。そのうちに人々が住むよ うになり、町の原型ができ、日陰を作っ た植物の名前が町の名前になった。お隣 のペトロリーナは、かつて「ジュアゼイ ロへの通過点」と呼ばれるだけの場所で あったが、灌漑農業プロジェクトの推進 により発展し、今ではジュアゼイロより も大きな人口を有する立派な都市に成長

東京都の2倍の面積を持つ 南米最大の人造湖ソブラジーニョ

ペトロリーナから西へ 40km の場所 に、サンフランシスコ河を堰き止めて造 られた「南米最大の人造湖」と言われる ソブラジーニョ人造湖がある。人造湖建 設の目的は、①水力発電所の運営による



ペトロリーナのアセロラ農園

東北伯地域での電力供給の拠点にするこ と、②人造湖下流の水流を制御し灌漑農 業プロジェクトを推進することであっ た。1973年に建設が開始され、水力発 電所として操業開始したのは 1979年 のことだ。旧ソ連製の発電機6基があ り 1.050MW の総発電能力を有してい る。人造湖の最大面積は 4,214 km² で、 東京都 (2.188 km²) の約2倍の面積 を有している。東京 23 区 (620 km²) と比べるなら約7倍の面積だ。ブラジ ルの象徴的な千年王国運動のひとつ「カ ヌードス戦争 | の指導者、アントニオ コンセリェイロは「セルトンは海になり、 海はセルトンになる」という予言を残し たと言うが、彼の死のおよそ80年後に 完成したソブラジーニョ人造湖はまさに セルトンにできた海のように巨大な人造 湖となった。

サンフランシスコ河中流域の 灌漑農業

ソブラジーニョ人造湖の下流に新しく 拓かれた耕地は農業省の管轄の元、8つ の灌漑耕地プロジェクトが造成され地元 住民に販売された他、南伯からの移住者 等にも分譲された。中でも、コチア組合 等を通して移住してきた日系人の果たし た功績は絶大である(土壌塩性化の予防 策、ぶどうの強制剪定による収穫時期の 調整と生産性の向上など)。移住者の流 入によりペトロリーナ・ジュアゼイロ を合わせた人口は 1980 年の 20 万人 から現在では56万人までに成長してい る。これは鳥取県と同じくらいの人口規 模だ。米国をモデルとして灌漑農業の開 発が進められてきたことから、「ブラジ ルのカルフォルニア」と呼ばれることが ある。灌漑区画は約5万ヘクタールあ り、その大部分においてマンゴーとブ ドウ(生食用)の生産が行われている。 2016年におけるマンゴーの生産量は 21万トン、ブドウは22万トンであった。 おり、ブラジル全体の輸出のおよそ9 割はこの地で生産されたものである。マ

ロリーナからヨーロッパのルクセンブル グに直行する。主な輸出先はヨーロッパ、 北米であり、最近では韓国やロシアにま で輸出を始めている。自然環境的にはセ ルトン(半乾燥地帯)に属しており、年 間降水量が 400-500mm と少なく、大 西洋に面した州都レシーフェと比べると 6分の1程度でしかない。晴天の日が多 く日照時間も長いので、マンゴーなどの 熱帯果実の生育には大変適している。果 実の生育に必要な水は、降水量の多い南 部のミナスジェライス州の水源から運ば れてくる。要するに、サンフランシスコ 河中流域では、セルトンの「太陽の恵み」

セルトンの海はセルトンに戻る? 深刻な水不足

発展を遂げることができたのだ。

とミナスジェライスの「水の恵み」をい

いとこ取りすることによって、熱帯果実

の一大フロンティアとしての目覚ましい

灌漑農業は人口の増加と経済的繁栄を もたらしたが、必ずしも順風満帆という わけではなかった。直近5年間は深刻 な干ばつによる水不足に苦しめられてい る。2015年12月にはソブラジーニョ 人造湖の貯水率が1%を切るという瀕死:割合は14%に過ぎない。ブラジルの風 状態に陥った。「人造湖の底に沈んだ建 物を再び見ることになるとは思わなかっ た」とかつての住民が複雑な表情で話す 様子を TV 番組は報じた。1979 年の開 業当初、人造湖から下流に放出する水量 は平均 2,060m³/s だったが、2013 年 から放出量が段階的に引き下げられてお : り、現在は 550 m³/s とわずか 4 分の 1にまで絞られている。「セルトンは海 になり、海はセルトンになる」という予 言を紹介したが、まさに海になったセル トンが再び乾いた大地(セルトン)に戻 ころうとしているのだ。この危機的状況を 受けて、テメル大統領は2016年8月に、 : サンフランシスコ河の再開発プロジェク ト (Plano Novo Chico) を立ち上げ そのうち7割近くは海外に輸出されて: た。計画では今後10年間かけて70億 レアルを投資し、取水機能の強化、歩留 まり強化による水量の増強を図る狙いだ ンゴーやブドウを運ぶ航空貨物便はペト:が、汚職と非効率がお家芸のブラジルな:東北伯にもたらしたことになる。

ソブラジーニョ水力発電所



ので、実際にどの程度の効果があるのか 懐疑的な見方も少なからずある。

旱魃の影響で台頭した 風力発電

世界最大の滝(イグアスの滝)と世界 最大の河(アマゾン河)を擁するブラ ジルでは電力供給の61%を水力発電に よって賄っている。従って、"ブラジル =水力発電大国"という考えは、ブラジ ル全体で見れば正しい。しかし、東北伯 に限って言えばこれは誤った認識であ る。今や東北伯の電力は実に51%が風 力発電により賄われており、水力発電の 力発電は近年目覚ましい成長を遂げて いる。2010年の発電量は 0.9GW でし かなかったのが、2017年には 12GW (13.8 倍)、2020年までに 17GW(18.6 倍) に成長する見込みだ。風力発電所の 80%は東北伯地域にある。地理的に東 北伯は他の地域に比べて大西洋からの風 が安定的に吹く地域であるという。また、 風向きが一定で、突風が少ないという風 力発電に適した条件を備えている。干ば つによるソブラジーニョ人造湖の貯水率 の低下により、水力発電に依存できなく なったことが引き金となって、代替エネ ルギーとしての風力発電が急速に増加し た。東北伯での風力発電の普及事例は欧 州の学会などでも世界の関心を集めてい る。「災いを転じて福となす」というが、 干ばつは水力発電に代わる再生可能エネ ルギーへの投資促進という思わぬ成果を

●特集●若手が引っ張る日伯ビジネス

ブラジル事業とブラジルコスト 駐在1年目の悲喜こもごも



藤江洋介 (NSK ブラジル)

正直なところだった。

学生時代、2週間ほど観光でブラジル を訪れ、その時は飛行機で24時間以上 という時間・距離的な面からもう来るこ とはないだろうと思っていたが、約10 年後、家族帯同で赴任することになると は思っていなかった。

当時はリオデジャネイロでの本場の カーニバル、イグアスの滝といった日本 では中々味わえない文化・自然や、シュ ハスコなどのブラジル料理の美味しさが 印象的だったが、駐在としてのブラジル 生活では観光気分と同じというわけには いかない。当然といえば当然だが、日本 との違いに苦労している。

生活環境整備と交通事情

こちらでの生活立上げ時に、早速違い を痛感した。新居を決めていざ家具を購 入・配送日を決めたが配送予定日の前日 に、届けられなくなったという連絡を受 けた。更にもう一度前日にキャンセルに あい、これには参ってしまった。また、 インターネットの開通工事も、予定日通 り担当者が来て工事が実施されたまでは よいが、なぜか繋がらず、後日再設定と いう事もあった。取り決めた事がこうも 簡単に覆されてしまうというのは、やは り面食らってしまった。こちらでの日々 の業務の中でも、誰が・いつまでに・何 をするのか決めたはずなのに、いつの間 にか曖昧になってしまうことがあるが、 やはりここは日本とは違うのだ、と感 じる場面だった。(自分自身を振り返り、 あまり偉そうに言えないが)

交通事情にも日本と大いに異なってい た。毎朝約1時間かけての車通勤なの

だが、サンパウロ市内

読めなくなってしまう。幹線道路にポッ カリと空いた穴やウインカーを出さずに 車線変更する車、猛スピードで車の脇を 我が物顔ですり抜けるバイクにも気を使 いながら運転することになり、これも予 想以上に気力を使う。未だに慣れないた :: コミュニケーション問題 め、始業前からグッタリしてしまう。

広義のブラジルコストと サンパウロの利便性

こちらに来てから、複雑で高額な税制・ 労働者優遇による賃金上昇・治安への対 策費などを指す「ブラジルコスト」とい う言葉を耳にしたが、解釈を広げて、こ れらの状況もある意味でブラジルコスト と考えている。他にも、ワールドカップ までに完成する予定だったが未だ完成し ていない高速道路や、地下鉄開通の遅れ など、この国で予定通りに物事を進める ことの難しさを表しているように思う。

それでも、もちろん疲れる事ばかりで はない。サンパウロには世界最大級の日 系社会があるおかげで、日本食や日本文 化に触れる日本食や日本文化に触れる機 会が多いことは非常に助かっている。日 本の反対側にいるのに、日本とあまり変 わらない食生活が送れるというのはスト レスを軽減してくれる。日本人駐在員と その家族の結びつきも強く、今は SNS で盛んに情報交換ができることもあり、 日本人同士の輪が広がりやすい環境であ る。ここで得られる知人・経験は自分自 身はもちろん、帯同している家族にとっ ても貴重なものになるだろう。

治安の面では、当然日本と同じように 自由に出歩くことはできないが、UBER などの配車サービスが当たり前になって おり、身元がはっきりしているドライ

まさかブラジル赴任とは、というのが :: 渋滞を起こし、行きも帰りも到着時間が :: として十分機能していて、むしろ日本で の移動よりも便利だと感じる。

> 大抵の支払いもカード決済が浸透して おり、現金での買い物がまだまだ多い日 本より進んでいる。

言葉の問題も、いくつか定型フレーズ を覚えればある程度生活できるが、どう しても伝えたいことが出てこない時、相 手の言っていることが分からない時に、 翻訳アプリでお互いの意図が伝えられる のは、今の時代の有難さを痛感する。

業務上では基本的に英語だが、こちら は翻訳アプリで、という訳にはいかな い。お互い第二言語なのだ、という意識 が幸いして、多少の文法的な間違いは気 にせずに会話するようにしているが、仕 事の進め方という面では共通認識を取る のに苦労する。ブラジルに限ったことで は無いが、先述の通りできるだけ業務上 の決定事項が進まないことを避けるため にも、コミュニケーションは日本以上に 気を使う。

ビジネスのミクロとマクロ

日本では一部署の一営業担当としての 視点から業務をみることが多かったが、 こちらでは会社全体の利益にかなってい るのか、という俯瞰的な視点がこれまで 以上に必要と感じている。また、ブラジ ル特有の複雑な税制など、理解や進め方 が難しい場面には経験豊富な現地スタッ フの助けが欠かせない。とかくブラジル 人は仕事に対して自発的でないという見 方があるが、そのような見方に縛られず、 彼らの経験を自分の知識とし、これまで の不況から回復基調にあるブラジルにお は雨が降れば簡単に大 バーによる送迎は安心でき、買い物の足: いて、会社と自身の成長に繋げたい。

ブラジルで仕事をするとは 駐在1年目に思うこと



ブラジルに来てから9ヶ月が経った。!! 働いている。業務内容が幅広く、なかな!! NECラテンアメリカ社について あっと言う間だ。

ブラジルの印象は、大変良い。オフィ スの社員も皆親戚のように生活のことを 気にかけてくれるし、日系人の方がたく さんいるためか、日本文化が好きと言っ てくれる人や日本語を勉強していると言 う人が多く、温かい親日な国だと感じ る。私は東京育ちなので、サンパウロの 美味しい店やお洒落な店が建ち並ぶ街並 みは親しみを感じられ過ごしやすいし、 レストランや店でも人が親切なので嫌な 思いをすることもない。またどこへ行っ ても日本と比べて子供が多いと感じ、 パーティがある度に年配の方でもサンバ を歌ったり踊ったりと、エネルギッシュ で勢いのあるところも魅力的だ。パウリ スタ通りを歩いていても分かるが、ブラ ジル人の人種や考え方には多様性があっ て面白いし、また国土も広大なのでそれ ぞれの土地に特色があり、ビーチ、ジャ ングル、滝、渓谷など、20以上の世界 遺産を含めて行ってみたい所がたくさん

一方で、サンパウロ市の犯罪発生率は 日本の880倍とも言われ、夜暗くなっ た後は外を歩くことができなかったり、 昼でも細心の注意を払わなければなかっ たりと、不便な点があるのも実情だ。ま たゴミが散乱する道に赤ん坊を連れた ホームレスがたたずむ姿や、信号待ちの 車に向かって路上パフォーマンスをする 子供がいる光景には心が痛む。ものすご い額のお金をマンションに隠し持ってい た政治家なんかは、そんな子供たちを見 て何を思うのだろう、と考えてしまう。

NEC に転社するまで

私は現在、NEC ラテンアメリカ社の 中南米統括部門の中にある事業戦略部で

か段取り良く仕事ができずにもっと役に 立てたらと自分への不満が募る日々だ が、海外で仕事をする夢が叶い、やる気 は高く過ごしている。

元々、帰国子女の多い中高一貫校に純 ジャパニーズとして入った私は、世界中 の人とコミュニケーションの取れる英 語を操るクラスメイトたちが羨ましく て、早く追いつき追い越して当時の通訳 になりたいという夢に一歩でも近づかな : ければという思いから、父を説得して高 校2年生の時に一年間オレゴン州の高 校へ留学させてもらった。また大学も4 年間英語で授業をする学部へ入学し、2 年生の時には交換留学カリキュラムで再 度アメリカのカリフォルニア州へ留学し た。卒業後は日本の文化や優れた技術を 海外の人に紹介したり、反対に海外の進 んだ物を日本へ取り入れて、双方ともす ごい!便利!と感動してもらいたいとい う思いから、日本で初めて iPhone を販 売した某通信キャリア企業へ就職した。 ところが配属されたのが国内営業の官公 庁担当部署で、一言も海外・英語に触れ ない日々が3年間続いたため、今まで 受けてきた教育や自分の強みが生かせず もったいないと感じ、現在の会社に転職 して海外営業担当となった。NEC は日 本の高品質な情報通信技術でグローバル にビジネス展開しているので、例えば 30年前には考えられなかったような驚 くべき便利な IT 技術を提供して人々に 感動を与えられるような仕事ができると 感じている。

NEC ラテンアメリカ社は今年で創立 50 周年を迎えた。NEC 全社が目指す のは、自社の人工知能 (AI) やビッグデー タ分析といったコア技術をお客様にとっ ての価値へと換えるべく一緒に課題解決 ソリューションを「共創」するスタイル なので、ますます海外現地法人の営業 力、リサーチ・ネットワーキング力が重 要となる。またグローバルでは世界トッ プレベルの生体認証技術を活かしたセー フティ事業の推進を掲げており、特に治 安に課題を抱える中南米地域では市中監 視や犯罪者照合等による犯罪防止に貢献 できると考えている。個人的には、例え ば将来サンパウロ市の犯罪率が劇的に下 がり「30年前は日本の880倍だった」 と言ったら皆信じられないと驚くよう な、そんな事業に自分も携わったと言え たら素敵だなと思っている。ITの世界 は進化が急速で、お客様のニーズを素早 くキャッチするベンチャー企業が生まれ ては先を越されと厳しい市場環境ではあ るが、やはり日本企業の強みである技術・ 人への期待や信頼を大切にしたい。さら に NEC の強みである IT と通信両方の 技術を組み合わせて総合ソリューション として提供できる点を誇りに持ち、中南 米事業をさらに盛り上げていきたい。

最後に、このチャンスを与えてくれた 会社、懲りずに指導してくださる上司や 先輩、ブラジル生活を豊かにしてくれる 友達、支えてくれる家族にはいつも感謝 していることを伝えたい。海外での人

> とのつながりを楽しみなが ら、中南米と日本をつなぐ 架け橋として名前に見合っ た仕事をし、この感謝を返 せるように努力するつもり



早朝のサンパウロ高速道路風景



ブラジルが汚職体質に なりやすい理由



ブラジルが汚職体質になりやすい理由

1月24日、ルーラ元大統領が、住宅物件を媒介した収賄 とマネー・ロンダリングの容疑の2審目の裁判で実刑12年 1カ月の判決を受けた。現行の法規に従うなら、この判決で ルーラ氏は監獄行き、ということになる。

ルーラ氏のこの裁判に関しては、「明確な証拠もないのに」 と擁護する一派も目立つが、同氏の容疑の中で今回のものは 最も軽い類のもので、他にもあと5件のより重い訴訟も抱え ており、いずれにせよ潜在的に汚職に無縁の存在であるとは 言い難い。

ただ、2014年にラヴァ・ジャット作戦が始まって以来、 ルーラ氏のみならず、現大統領のテメル氏や、旧野党のリー ダー、前下院議長をはじめ、主要な政治家には何かしらの汚 職疑惑がかけられているのが現状だ。このようにブラジル政 界の汚職体質は深刻なのだが、今回はなぜこのようなことが ブラジルで行われやすいかについて語ることにしよう。

ひとつはブラジルが極端な多党制であることだ。ブラジル の場合、軍事政権の時代に、政党結党の自由が奪われていた トラウマもあり、権利を主張し政党を多く作りたがる傾向が ある。それゆえに選挙裁判所に正式に登録されている政党だ けで35 党あり、その多くの党が下院や上院で議席を持って いる状況だ。それゆえに、大統領を抱えるような大型の党で さえ下院 512 の議席の中で 50~60 人と、全体の 1 割前 後と、他の国から考えると圧倒的に数と割合が少なくなる。

そういう状況では、いかに大統領の与党が連邦議会をまと めるかが治世のカギとなるのだが、このために、政府と政党 とのあいだで「政府への忠誠を約束する代わりに」と贈収賄 取引が行われやすい体質ができてしまう。過去に、1992年 に時のコーロル大統領がこれで罷免され、2000年代には労



ルーラ元大統領&モロ判事(第一審の裁判官)

働者党政権の主要政治家たちが同じく政治生命を絶たれてい る。こういう体質を改善するためには「党の吸収合併」が理 想的で、非ブラジル人の自分からすれば「左翼、中道、保守 などのグループで合併すれば良いのでは」とも思うのだが、 ブラジル人にしてみれば「自由を奪う」という主張になり、 実現はかなり難しい。

もうひとつの問題は、ブラジル企業の国際競争力がきわめ て弱いことだ。このため、企業が行なう事業に国がバックアッ プレて保護する体質ができやすくなる。件のルーラ氏が陥っ たのもまさにそこだ。ルーラ氏はオデブレヒト社やOAS社 といったゼネコン企業で懇意な企業と結びつき、自身や労働 者党政権の大事業関係をまかせてきた。だが、それが次第に エスカレートしていき、やがて事業と引き換えにした贈収賄 工作が行なわれるようになったとされる。現在、ルーラ氏が 裁判にかけられているのは、2011年頃に大統領隠居を見越 してサンパウロ郊外の海岸部に構えようとしたと見られる高 級住宅が OAS からの賄賂だったのではないかという問題で、 これで2審目までで12年の実刑判決を受けている。ただ、 裁判にはまだ至っていないものの、ルーラ氏にとってこの問 題より深刻なのは、中南米やアフリカでの国際事業でオデブ レヒトを伴って国際的斡旋を行ない、公共銀行の社会経済開 発銀行(BNDES)から巨額の不正融資を行なった疑惑を 持たれていることだ。

また、3つ目は、これは左翼政党に共通した傾向ではある のだが、いわゆる公共事業を民営化させることを、まるで「悪 の誘惑」でもあるかのように極端に嫌うことだ。彼らの言い 分としては「本来、国民が共有するべき資源や交通を一部の 人間が私有化するとは何事か」ということのようで、これは これまでの選挙でも、労働者党がかつての与党で政敵の民主 社会党をやりこめる際に使っていた常套句でもあった。

だが、そのために、労働者党政権は。国営石油会社 ペトロブラスを民営化させない代わりに、他の連立政 党と共に自分たちが私物化し、汚職の温床地帯へと変 えてしまった。ペトロブラスが他の企業と契約を結ぶ たびにこれらの党の政治家たちがあいだに入り、仲介 料として賄賂を受け取る・・。これこそが今や「世界 最大汚職スキャンダル」とも言われるラヴァ・ジャッ ト作戦の捜査の根本であり、この問題で、ブラジル経 済をも支える世界企業、ペトロブラスは多大な負債を 抱え、好調だったブラジル経済が沈む一因にもなった のだった。

ブラジル住友商事

逆風のなかでの事業展開

(南米支配人兼ブラジル住商社・

ブラジルでの歩み

当社は1955年にサンパウロに駐在員事務所を開設した。 当社が、初めて海外拠点を設置したのが 1950 年のムンバイ (当時の呼称はボンベイ)事務所なので、当社としてはかなり 早い時期にブラジルに拠点を構えたことになる。以来、レシ フェ、リオデジャネイロ、ポルトアレグレ、ディアデマ、ベ ロオリゾンテなどに拠点を構え、食料、化学品、金属、資源 など幅広くビジネスを展開してきた。昨今は、交通手段や通 信手段の飛躍的な発展により、広域での展開が容易になった ことから、ビジネス規模は格段に増やしながらも、拠点とし てはサンパウロとリオに集約し、ベロオリゾンテは鉄鉱石生 産事業に特化したプロジェクト事務所を置くに留めている。

当社の事業会社では、1976年に出資参画した農薬の製 造・販売会社であるイハラブラス社や、2010年に出資参画 した鉄鉱石の生産・販売会社である MUSA 社などがあるが、 2013年以降の伸びが目覚しい。2013年に化粧品原料の卸 売り会社である Cosmotec 社に出資して以降、現在までに 5つの事業会社を次々と立ち上げている。

その起爆剤となったのは、ブラジルの大きな潜在力に注 目して、本社が2013年から2014年までの中期経営計画 (BBBO2014) と、それに続く 2015 年から 2017 年まで の中計(BBBO2017)において、ブラジルを「全社育成国」 に指定したことにある。「全社育成国 | に指定されると、新 規事業開発に拘わる出張旅費、FS費用などは全額全社負担 となり、個別の部門には賦課されない。都合、5年間もブラ ジルはその恩恵に与ることとなり、この間にブラジルを訪れ た当社社員は役員も含めて数知れない。また、様々な産業分 野で市場調査や FS を存分に実施することも出来、そうした 蓄積も膨大なものになった。

こうした中で、2016年には世界最大の砂糖・エタノール 製造会社の COSAN とのバイオマス燃料の製造会社、2017 年には南米最大の製鉄メーカーである Gerdau との風力発電 用の鋳造・鍛造品製造会社、世界有数のアセットマネジメン ト企業である Brookfield 社と水コンセッション事業の設立 などに至るのだが、これに留まらず、この5年間に仕込んだ 案件がこれから次々と実現する見込みであり、実に楽しみで ある。

> 逆風の中での 事業推進

> > 「全社育成国」に指定さ

れて、当社としてはブラジルに注力することは全社戦略とし て決定していたが、必ずしも常に順風が吹いていた訳ではな い。特に、2014年半ばの資源価格の急落に伴いブラジル経 済が一気に悪化したのに加えて、政財界を巻き込む大汚職事 件が勃発して経済も政治もガタガタになっていた時期、本社 からは「ブラジルで事業を推進して本当に大丈夫なのか」と いう、ある意味、当然の声も強かった。これに対して、

「経済がいかに低迷しても、その影響を比較的受けにくい 産業・分野に注力している」ことを粘り強く説明してきた。 たとえば、先述の COSAN とのバイオマス燃料の製造事業 は、ブラジルに膨大に存在するサトウキビの搾りかすや茎・ 葉を原料にしている。気候変動への対応策として、化石燃料 に比べて多少割高であってもバイオ燃料の使用比率を増やす ことが世界的な潮流、もしくは国によっては義務となる中 で、森林資源をベースとした木質燃料では供給に限界があり、 バイオ燃料市場は巨大な需給ギャップに直面する。この需給 ギャップを埋めるのが我々の事業である。気候変動対策とい う人類の喫緊の重要課題への取り組みであり、経済の好調、 不調に拘わらず、必ず取り組まれるべき事業である。こうし たことを、粘り強く説明することで、ブラジル経済が絶不調 のときも、社内外の理解を得ることに成功してきたのである。 余談となるが、マスコミが「ブラジルは 1930 年の世界大恐 慌以来の2年連続のマイナス成長」などと、わざわざ約90 年も前の世界大恐慌を持ち出してブラジルの景気後退を強調 するのにも随分と閉口させられた。

これに対して、「逆にいえばブラジルは世界大恐慌以降、 一度も、二年連続のマイナス成長をしていない。二年連続の マイナス成長などは世界的に見れば珍しいことではなく、日 本でさえ 1990 年以降でも 1998 年・1999 年、2008 年・ 2009年の2回も二年連続のマイナス成長をしている。ブラ ジルの経済は循環型であり、長期で見れば一貫して右肩上が りになっている。」と冷静に説明してきた。マスコミのセン セーショナルな文言よりも、冷静な分析や説明が重要と考え ている。

今後のブラジルでの方向性

当社は我々に様々な事業機会を与えてくれたブラジルに感 謝し、愛着を持ちつつ、今後は更にブラジル社会に密着した ビジネスを展開していく。たとえば、すでに水事業に参画し ていることは先述の通りだが、こうしたブラジルの皆さんの 身近で、生活に必須なものについてより上質で便利なものを

13

12

提供していくことで、Win-Win の関係を築いていきたい。

ブラジルにおける 模倣品対策



カラペト (Licks Attorneys.

ブラジルでは模倣品の問題が多く発生している。模倣品対策 をするための留意点を紹介する。事実、最近の15年でC層(中 間層) に上がった人数が多かったものの、ブラジルは貧困の差 が歴史的に根強い問題になっている。しかし、近年、ブラジル の経済はまた不安定な時期に入ったといえる。特にそういう時 期に、購買力の低い人たちが安い商品を求めることになる。そ の分、模倣品が問題となる。ブラジルでは、街中の露天商など で模倣品が多く販売されており、大きな問題となっている。こ のため、模倣品の対策は国際的な課題になりつつある。

模倣品の入国ルート

.

.

.

.

.

.

.

4

.

.

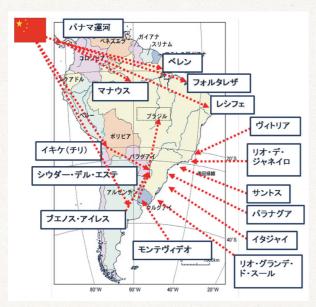
.

-

.

ブラジルの面積は極めて広い。世界で5番目に大きい国で あり、日本の面積の約22倍もある。また、ブラジル海岸線は 7000 キロを越す。その上、内陸面ではエクアドルとチリ以外 に全ての南米の国と国境を接している。したがって、入国ルー トが多数であり、国境の全てを管理することが困難であると 言っても過言ではない。

入国ルートは多数であるが、主なルートは地図に示した通り である。ブラジルで最もキャパシティが大きいサントス港はお そらく最も模倣品を受けているといえる。内陸から入るルート として、ブラジル・アルゼンチン・パラグアイの三国国境が共 有するトリプレ・フロンテラというところがある。そのルート を通して多くの模倣品が流入する。



ブラジルで販売されている模倣品のほとんどが中国で作ら れていると予想される。2015年に行われた調査によると、中 国税関での輸出差止件数は、米国の次にブラジルへの件数が2 番目に多かった。ブラジル模倣品対策協会(略称 [ABCF]) の推定によると、ブラジルで販売されている模倣品の65%は

中国から持ち込まれたものである。中国からの模倣品だけで、 毎年750億レアルの損害が発生している。タバコ業界に関す る模倣品の30%は、パラグアイで生産されている。ブラジル で販売されている模倣品はほとんど中国産とはいえ、ブラジル 国内に模倣品が作られていないとは限らない。特に、飲料品、靴、 服等に関する問題が多い。ブラジルにおける模倣品の生産地と して、ミナスジェライス(靴)、ゴイアス州のジャラグア市(服) およびゴイアニア市 (飲料品) が挙げられる。

模倣品への対策

ブラジルでは、裁判所にて知的財産権利行使を行うときに権 利者に有利に判断されることが多いといえる。しかし、裁判所 の他にも、模倣品対策で使える機関がある。水際取締をする場 合に、税関での手続きが可能である。税関での手続きの問題は 知的財産の登録制度は正式には存在しないことである。しかし、 税関内にある CERAD という部門があり、戦略的な部門とし て実際に税関登録に1番近い役割となる。CERAD に対して 情報を提出すると、当該情報 (ブラックリストや真贋情報) が ブラジル全土の税関に共有されるから、多くの場合に有利にな る。また、税関職員に対する研修を設けることがきわめて望ま しいといえる。模倣品を差止したいのに、模倣品を区別できな いからやらないことがあるので、そういう研修が大事である。

他の問題は、税関が産業財産権(税関の場合、主に商標権で あるものの特許等も可能) に基づく仮の差止は 10 日間しか続 けることができないことである。その10日間は追加10日間 の更新が可能であるが、最終的に差止めるために裁判所にて知 的財産権侵害を主張し、差止請求をしなければならない。その 理由は、ブラジルでは、商標権や特許権の侵害は親告罪になっ ているからだ。したがって、税関の職権で最終的に模倣品を差 止したり、破壊したりすることができない。

裁判所での対応に関して、模倣品対策として1番よく使え るのは民事訴訟として仮処分の差止請求である。知的財産の権 利者の許可を得ずに知的財産が使用された場合、その使用行為 は侵害とみなされる。基本的に、侵害行為として製造、使用、 輸出、販売申し出、販売、その他の行為が含められている。し かし、訴訟であるため、ある程度の費用がかかる。そのため、 件数が少ない場合に使い難い場合もある。

また、刑事救済としての模倣品対策も可能である。特に、大 規模な模倣品対策の場合、刑事上の権利行使のほうが、より有 益かもしれない。その理由の一つは、刑事訴訟の費用は主に弁 護士費用だけですみ、その他の間接的な経費があまりかからな いためである。しかし、デメリットとして、損害賠償は当然で きなくなる。

ブラジルの市場の規模が大きいから、模倣品対策を行うこと が困難である一方、既存のツールをうまく利用し、戦略を立て ると、効率的な対策となりうるだろう。

ブラジル入出国時の 税関の基本ルール

шшшшш

(ブラジル公認会計十

今回は、専門的な内容ではなく、日本からブラジルに渡航す る人の手荷物や現金、おみやげなど、ブラジル入国時と出国時 のブラジル税関の基本ルールについて、説明することとする。

I ブラジル入国時 <禁止品>

ブラジルに入国しようとする者は、ブラジル居住者であれ、 海外からの旅行者であれ、以下の品物は輸入が禁止されている。 ●国外販売専用のブラジル製煙草及び飲み物 ●生産国で、一 般に販売されていないブランドの煙草 ●模造品の銃器 ●輸 入許可証明書がない一部の野生の動物 ●関係当局の許可を必 要とする一部の観賞用や成育用の水性生物 ●偽ブランド品や 盗品 ●遺伝子組み換え品 ●農業殺虫剤やその原材料 ●道 徳、習慣、社会秩序に反する商品(たとえばポルノグラフィー) ●麻薬、大麻、覚醒剤、向精神薬

#111111111111111111

輸入禁止品ではないが、関係機関の許可を必要とする以下の ような規制品は没収されないように通関前に関係機関の許可を 取っておいたほうがよい。

●動植物 ●自然食品、種子、昆虫、卵 ●獣医用や農薬、医 療品、医薬品 ●人□受精用の製品、精子、卵子 ●清掃用品 や機材、美容、歯科用機器、血液、武器、弾薬 ●その他の軍 隊が管理している製品 ●野生動物、ダイヤモンド原石。

(注意! 第三者の預かり品や荷物、及びそれらを自分の物と して偽りの申告を行うことは禁止されている。成人入国者と一 緒でも、未成年者の荷物にアルコール飲料や煙草類や中毒の恐 れのあるものを入れることは禁止。)

申告なしの人 [緑のサイン] のある通路に向かう場合 **<税関で申告が必要ないもの>**

●書籍、雑誌 ●旅行中の個人的に使用される私物 ●使用中 の写真機、携帯電話、時計 ●総額 500 米ドル以下の購入新 品など(1ヶ月に1回の入国単位、陸路の入国では300米ドル 以下) ●ブラジル入国時のブラジル免税店での買い物(追加 500 米ドルまで) ●1 万レアル相当(約33 万円)以下の現 金(外貨、内国通貨)

<数量制限あり>

●アルコール飲料は12リットルまで、紙巻き煙草は20本入 り 10 箱まで、葉巻は 25 本まで、その他の品物で単価が 10 米 ドル以下は10種類20個まで ●その他の品物で単価が10米 ドル以上は3種類20個まで ●煙草の葉250グラムまで。

(注意! 入国前に免税店で購入した品物は、日本に持ち帰る としても、ブラジル税関で自動的にすべて免税となるわけでは なく、前記の金額や数量制限を超える物には関税等が課せられ る。ブラジルの免税店での購入者は国外の買い物とは別枠で、 金額や数量制限を適用)

申告(インターネットで申告)が必要な人[赤のサイン]のあ る通路に向かう場合

<申告が必要なもの>

●総額で500米ドルを超えるお土産、購買品(陸路での入国 では300米ドル以上) ●現金で1万レアル(日本円で約33 万円)を超えるブラジル通貨または外貨(小切手は含まない) ●行方不明の手荷物 ●上記の規制品の持ち込み ●専門業務 に必要な一時的なものや、スポーツに使用されるもの。

携行品であれ別送品であれ、総額で3000米ドルを超える場 合は、一定期間無税となる輸入許可申請が必要。また、コン ピューターやラップトップ、ビデオプロジェクター、撮影機器 なども、旅行中個人的に使用されるものであっても、3000米 ドルを超える場合は申告が必要。申告すれば税金はかからない。 (注意!1万レアル以上の現金の申告は必要だが、申告しても 課税は行われない。500ドル超の購買品持ち込みは課税。空港 でインターネットで申告した書類を税関に提出)

Ⅱ ブラジル出国時

<禁止品>

●爬虫類、両生類の皮 ●環境省の勧める運搬方法に従ってい ない野生動物 ●蝶やその他の昆虫、それらを使用した製品(た とえば蝶のコレクション、剥製など)の持ち出し ●中毒の危 険がある向精神薬や麻薬など。

<規制品>

以下のものは、外国への持ち出しには関係各庁の許可を必要 とする。●ペット、植物、種子、昆虫、卵 ●獣医用や農薬、 医療品、医薬品 ●人□受精用の製品、精子、卵子 ●清掃用 品や機材、美容、歯科用機器、血液、武器、弾薬 ●その他の 軍隊が管理している製品、野生動物、キンバリープロセス非加 盟国産の紛争ダイヤモンド(武装勢力の資金源になっている) など。 ●1万レアル相当以上の外貨や内貨をもって出国する ときは、電子申告 (e-DBV) が必要。手続きは空港で行える。 課税はない。申告書、クレジットカードでの外国通貨引き出し の控え及びブラジル国内で外貨を購入したときは、その為替決 済領収書を出国前に税関に提示。 ●入国時に1万レアル以上 の現金を持って入国していた場合は、その申告書控えが必要。 出国時に入国時より現金が多くなった場合、不法労働などで得 た収入ではないかなど、その理由を調べられる。

<別送品>

持ち出しが禁止、規制されているものに注意し、輸出申請で

一般的に、手続きは簡単でないので取り扱い業者に依頼する。 その他、通常のブラジル国内で購入した携行品であれば、特に 課税はない。国内での買い物、たとえばブラジル製の機械や装 置などがあるときは、2000米ドルまでであれば、購入インボ イスを提示すれば、携行品とみなされる。動植物、武器などを 伴った出国は、一般的には禁止されているものが多い。

ブラジルのほぼ全土を セミナーで制覇

(元JICA専門家。67年ジェトロ入会、



際協力機構 (JICA) の専門家として、私はブラジリアに | 院協力機構 (OIOA) シャ ランフ 住んで、2003 年~05 年までの2年間、開発商工省 (MDIC) 貿易局で勤務した。当時のブラジルは、ロシア、イ ンド及び中国と共にBRICsと呼ばれ、高い経済成長を遂げ ており、勢いがあった。貿易局のアジア担当者は毎日、中国 からの通商ミッションの受け入れや、中国への派遣の準備に 追われていた。ブラジルの年間輸出総額が初めて 1.000 億 ドルを突破した時期でもあった。

ICA の貿易振興の専門家として課せられた課題は(1) 対日輸出促進可能品目の選定(2)日本の貿易制度及 びマーケットに関する貿易情報の提供(3)輸出促進マイン ドの高揚等であった。これらの課題に対処するための手段と してブラジル各地で実施したのが「対日輸出促進セミナー」 であった。ブラジル駐在中は、日本貿易振興機構(ジェトロ) サンパウロ事務所には色々お世話になった。特に、対日輸出 促進セミナーには毎回、当時の桜井所長か澤田次長に講師を お願いした。

→ の分析を行い、①加工食品、②医薬品・化粧品原料、③宝 飾品、④電子工業部品、⑤自動車工業部品等 10 品目グルー プを選び出した。対日輸出促進可能品目の選定に当っては、 貿易局が貿易統計分析のために開発した Radar Comercial と呼ばれる、電子データを利用した。この Radar Comercial を活用して、ブラジルの輸出品目と日本の輸入品目を種々な 条件でフイルターにかけ、条件に合った品目を HS コード (輸 出入統計品目表)6桁分類で、選び出した。情報提供に関して は、ジェトロが必要かつ十分な情報を有しているので、これ を活用してもらうことが解決策と考えた。

─ 後の課題に対しては、輸出促進マインドの重要性およ **耳又**び輸出促進マインドを高揚させることの必要性を訴え るため、「啓蒙セミナー」をブラジル各地で実施した。これ らのセミナーは、MDIC、APEX(ブラジル輸出投資振興局)、 JETRO および JICA の 4 機関が協力して実施した。貿易局 にはジャパンデスクが設置されていた。責任者はアルトゥー ル・ピメンテル氏、私のカウンターパートはマルセロ・ブロォ ア氏であった。

→ ルセロ・ブロォア氏は、MDIC に入省したばかりの新 人であったが、既に 40 歳を過ぎた中年の男だった。 前職は、商社マンで、貿易実務に精通していた。主としてモ ザンビークやアンゴラ等アフリカのポルトガル語圏との取引 に従事していたようだ。典型的なカリオカ(リオ育ちのブラ ジル人)で、パーティーが大好きだった。私も良く自宅に招 待してもらった。彼は、政情不安のアフリカで、様々な危険 な目にあっていたようだが、幸いこれらを乗り越えて来たと いう。アルコールが入るといつも、誰彼なしに、いかに危険 な目に遭い、命拾いしてきたか語り聞かせていた。

→ ルトゥーロとマルセロが MDIC の講師を務め、「MDIC ー J ICA 対日輸出促進技術協力プロジェクト」の経緯や 目的を説明し、ブラジルの貿易動向等についてコメントした。 APEX はブラジルの輸出促進活動について説明した。私は、 日本市場のトレンドについてコメントした。特に、少子高齢 化が進み、エルダー層が拡大している日本の消費市場に焦点 を当て、将来的にどんな変化が予想されるのかを紹介した。

JETRO は、サンパウロ事務所がブラジルの輸出・投資企 業に提供しているサービス及び日本の商習慣について説明し た。対日輸出を始めた企業があれば、その成功例を話しても らったり、対日輸出関心企業を訪問し意見交換を行なったり もした。

ルジッペ州でのセミナーの際、カシューナッツの輸出 ■企業を訪問した。カシューは、日本では余り馴染みが 無いが、少し風変わりな姿の果実だ。ナッツが果実の蔕(へ た)の反対側に「臍(へそ)」みたいにくっ付いている。こ れが美味しい果汁を大量に含んでいる。カシューを機内に持 ち込もうとしたら、チェックインの際に断られた。強い香り を発するので他の乗客に迷惑がかかるというのが理由であっ た。アマゾンでは、カシュー以外にも、「グラヴィオーラ」「ク プアス」「タペレバ」など日本ではあまり馴染みのないフルー ツに出会った。

全州で開催した。実施回数は2年間で29回、広大 なブラジル全土をほぼ制覇した。マット・グロッソ州でのセ ミナーの際には、パンタナールの湿地帯にも足を伸ばした。 野生のワニや猿の群、道端で戯れているカピバラ家族の光景、 更には色鮮やかなヘビの姿などが思い出される。釣りもした。 ラッキーな事に、この時、釣り船の前方ごく近くを偶然「バ ク(獏)|が横切り、反対側の岸に泳いで行くのに遭遇した。 この「啓蒙セミナー」の成果の一つは、フォローアップ研修 に繋がったことである。このフオローアップ研修は、ジェト ロ・サンパウロ事務所における州政府職員に対する研修とい う形で実現した。アクレ州、トカンチンス州、ロンドニア州 およびアマパ州の州職員がこの研修を受けたと聞いている。

→ ラジル駐在の2年間はアッと言う間に過ぎたが、色々 ✓ なことが思い出される。飛行機が遅れて、アマゾンの 空港で一夜を過ごしたこともあった。また、当時マイアミで、 日系企業に勤めていた娘が市場調査のためブラジルに寄った 際には、サンパウロで会い、たまたま開催中だったピカソ展 を見に行った。今では、これらの全てが良い思い出になって いる。



ウーマン・ア

ブラジル在住63年、アマゾンからサンパウロへ

私は、13歳だった。中学一年を中退し、家族と乗船した 「ぶらじる丸」が神戸を出港したのが 1954 年 12月 21 日で、 ブラジル・パラ州ベレンに着いたのは翌年1月21日だった。 ベレンから小さな外輪船に乗り換え、同船者 1.008 名ととも にベルテーラのゴム園に行くことになっていたが、「ぶらじる 丸」に出迎えにみえたアマゾニア産業㈱ブラジル代表、辻小 太郎氏の発言が、問題発言だった。それは、移住者募集要領 に記載された日当と、実際に支払われる金額(7割程)に大 きな差があるが、了解してほしいというものだった。

その場にいた家長たちは、驚き、辻氏に詰め寄ったが、辻 氏はなんと「原始林の中に入って行けば、ババスやしの実が 沢山落ちているからこれを拾って売ればかなりの金になる し、食料の足しにもなる」と話したのだ。家長達は、「乞食じゃ あるまいし、木の実を拾って売り歩けとは、ふざけるな」と 激怒したものの、土地、家など売り払い、皆様に餞別までも らってブラジルまで来ている以上、日本に帰ることもできな かった。一夜がすぎ、翌日も未解決のままだったが、苦渋の 選択で結局下船するしかなかった。

3年間は農業をして移住経費を返す義務があったため、父 は移住地に留まる決断を下し、家族の団結、汗と涙の結晶と して三年目で土地を購入し、新しい家を建てることが出来た。 が、学校に行けず、13歳にして、一年中無休で働いたこと、 弟が毒蛇に噛まれたこと、両親が親の死に目に会えなかった こと、等々、今でも苦い思い出だ。

二十歳のとき、学問もなく言葉もできず金もない小娘が、 アマゾンからサンパウロに出てきた事は、いま考えてみても 無鉄砲な行動だったが、当時は必死だった。

経済について、一言。63年間も住んでいるが、本当にムチャ クチャな国だと思う一方、面白い国だとも思う。1980年代 後半から90年代にかけては、すさまじいインフレ、銀行の 預金凍結、紙幣の目まぐるしい変化など本当に混乱状態だっ た。あの時期を小さいなりに人様に迷惑もかけず良く頑張っ たと私、本人も驚いている。

働く気持ちのある人ならば生きて行くことは出来る国、そ れがブラジルだ。

ジャーナリストの旅路

ゲバラ、アマゾン川を下る

キューバと米国が雪解けムードに変わり、カリブ海の真 珠といわれるこの国に旅する日本人も増えていると聞く。 あの明るさ、人懐っこさは人生の本当の楽しみ方を知って いるラテンの血そのもの。男のロマンを育んでくれる熱い 島である。

日本経済新聞記者としてブラジルをベースに幾度となく キューバを訪れた。ダイキリを飲みながらコヒマルで「老 人と海」のモデル、グレゴリオ爺さんにインタビューした り、ピノス島でモザンビークからの留学生に「ボンジア」 (こんにちは)とポルトガル語であいさつしたら「どうし て日本人が僕らの国の言葉を話すんだ」と驚かれたのもい い思い出だ。ピノス島には日本人移民も多い。ことし移民 120 周年を迎えるが、ブラジルで大活躍している日系人 への関心も高かった。

チェ・ゲバラの忘れ形見、アデイラさんに会った時は、 目元に父親の面影があり心が震えた。いつだったか、こん なことがあった。ハバナの昼下がり、旧市街をぶらついて いると古本市に出くわした。ベレー帽をかぶりあごひげを 生やしたおなじみのゲバラの肖像画が描かれた本を見つけ た。黄ばんだページを繰ると、アルゼンチンのブエノス大 (74年日経新聞入社

サンパウロ、ニューヨーク駐在などを経て、明治学院大学教授)

学医学部の学生だったゲバラが 1951 年末から相棒の医 師、グラナードとふたりオートバイで南米旅行へ出かけた 時の様子が物語られている。チリの鉱山労働者やペルーの 農民の虐げられた生活を目の当たりにした経験から、つい にはメキシコに亡命していたカストロと一緒にキューバで 革命を起こすことになるのだが、印象に残ったのは旅の途 中、イキトスからアマゾン川を下り、ペルー領のサン・パ ブロ・デ・ロレートにあるハンセン病療養所を訪れた場面 だ。私はナマズ研究の秋篠宮さまがマナウスを訪問した時、 同行したし、かつてコショウで栄えた河口の日本人移住地 トメアスは記憶にあるが、上流にこういう施設が存在する ことは知らなかった。ここで、看護婦がゲバラに、感染予 防のため手袋をするよう注意するのだが、彼はこれを断る。 素手で握手するゲバラを迎える患者たちは満面の笑みだ。 これも革命のエネルギーになったに違いない。

「心の痛みのわかるこういう男が世界を変えるんだ」と しみじみ思ったものである。歴史に「if」はないが、もし、 キューバ革命に参加していなければ、ゲバラはハンセン病 の医師になっていたはずだ。どんなお医者さんになってい たか。それを想像するのもまた楽しい。

コメディアンにして作家、マルチ芸人ジョー・ソアレス 刊行された自伝(上巻)、たちまちベストセラーへ

2018年1月第一週のベストセラーリスト(ノンフィク ション部門)を眺めていたら、第一位になっていたのが、 ジョー・ソアレスの自伝『ジョーの本』上巻であった。昨年 11月に刊行され、12月にはベストテン入りしていたが、 年が明けて、一挙にトップに躍り出たことになる。

ジョー・ソアレス。ブラジル人だったら、彼を知らな い人はいないだろう。ブラジル駐在経験のある日本人で も、「ああ、あの太目タレントか」と思われる人は少なく ないはずだ。

1938年リオで生まれたジョーは、映画俳優にして"太 目の"コメディアンとしてデビューしたのが 1950 年代 末であり、1970年代以降はブラジルのテレビ文化の躍 進と並行してその多彩な才能を発揮してきた。Globo TV のコメディー番組「Viva o Gordo(デブ万歳)」がブレー クし、1988 年には SBT に移籍して深夜のトークショー を始める。英語もフランス語も自由に駆使し、聴く者を 惹き込む彼の話術は天才的といえるほどだった。2000 年に Globo に復帰したが、このトークショーに出演した 人たちは、元大領領、政治家から有名ミュージシャンや 作家はもちろん歴史学者も数学者もさらには黒人運動活 動家まで、雑多といえるほど多彩であり、日本人では、 渡辺貞夫、小野リサ、宮沢和史も彼とのトークを楽しん だのだ。

さらに、ジョーの才能は喋ることから書くことへと戦 線拡大し、これまで4冊のミステリー小説を発表してい る。筆者も彼のトーク番組を見続けた視聴者の一人であっ たが、作家としてのジョーの才能を愛する読者でもある。 4冊のタイトルを列記すると、『ベイカー街のシャンゴ』 (1995年)、『ジェツリオ・ヴァルガスを殺した男』(1998 年)、『ブラジル文学アカデミー連続殺人』(2005年)、『太 目女性連続殺人事件』(2011年)となるが、第1作は邦訳(英 語版からの重訳) され、『シャーロックホームズ リオ連 続殺人事件』(講談社、1998年) というタイトルで刊行さ

ジョー・ソアレス

代のリオ、そこに 登場したホームズ

れている。この面

白本をちょっと復

舞台は 1880 年

習しておこう。

はなんとマカオ仕 込みのポルトガル 語を繰って殺人事 件の解明に活躍す

るかと思ったら、混血娘と恋に陥り、 といったストーリーが展開されるエン ターテメント作品だが、時代考証もき ちんとしており、当時の知識層に受 容されていたフランス人外交官ゴビ ノーの白人種優越言説まで登場人物 の会話の中に忍び込ませており、歴 史小説としても読める快作なのだ。

そんなジョーも今や 79 歳になり、周囲か ら懇願されて自伝を出すことになったのだが、この自伝が 出来上がるまでの経緯もそれだけで十分に面白い。

彼自身が書けるのに、「自分は書くよりも喋るほうが得 意だから」ということで、彼の語りをライターが文章に起 こすことになったのだ。このライターとは、マチナス・ス ズキ・Jr だ。マチナスといえば、かつてフォリャ・デ・サ ンパウロ紙で健筆を振るい、パウロ・フランシスが抜けた あとの特設コラムを引き継ぎ、少々荒っぽい文体で書きま くった日系ジャーナリストであり一時期東京支局長も務め たことのある記者だ。

数十回に及んだインタビューの累計録音時間は 100 時 間以上という、長時間オーラルヒストリーを、この一癖も 二癖もあるライターが文章化したわけだが、分量が多すぎ て、二巻本となった。家族のルーツから始まって、彼の少 年期、青年期までが記されている上巻が昨年 11 月に刊行 されて、ベストセラーとなった、という次第だ。

彼はリオ生まれだが、父方のルーツは東北伯のパライー バ州だ。祖父はパライーバ州知事も務めた有力政治家であ り、父親の叔父の一人は連邦議員にして外交官。親戚には スポーツ界で活躍した人もいる。

父親オルランド・ソアレスは株の売買で財を成したが、そ の一人息子であったジョー(本名:ジョゼ・エウジェニオ・ ソアレス)は、小学校まではリオ、13歳からスイス・ロー ザンヌの有名中高一貫校へ海外留学している。ジョーの話 す英語もフランス語も完璧なのは、このスイス留学体験の おかげだ。スイスで世界各国からの同級生たちと友情を深 めたジョー少年は、大学はオックスフォードかケンブリッ ジを夢見ていたが、事態は急変、父親の事業が破綻してし まう。やむなく18歳でブラジルに帰国して働き始める。 旅行代理店をへて、コメディー演劇の世界へ入り込むのだ。

と、彼の半生が語られている自伝本は528頁と分厚いが、 内容が面白ければ本を読まないブラジル人も購入すること になるワケだ。

自伝本『ジョーの本』表紙 JOSOARES O LIVRO DE JÔ

最近のブラジル政治経済事情(外務省中南米局提供情報並びに現地メディア報道他より)

Selic(政策金利)6.75%へ

2月7日開催された COPOM (通貨政策委員会) において、 Selicを7%から6.75%へ、0.25%切り下げることを決定し た。中銀がSelicを導入したのは1999年であったが、それ 以降では最低の金利水準となった。2016年10月の段階で は 14.25% であったから、1 年 4 か月で半分以下となった。

2月8日付けエスタード紙によれば、インフレ指数を 差し引いた実質金利で世界各国と比較すると、①アルゼン チン 6.04% ②トルコ 5.1% ③ロシア 3.68% ④メキシコ 3.66% ⑤ブラジル 2.86% と世界 5 位となっている。

IMF のブラジル成長予想、上方修正

1月22日、IMF(国際通貨基金)が発表した世界経済見通 しにおいて、ブラジルの 2018 年の GDP 伸び率を 1.9% と前回よりも 0.4% 上方修正された。

2017年自動車生産

トラックやバスを含む 2017 年の自動車生産台数は、前 年比 25.2% 増の 270 万台となった。前年まで 3 年連続の マイナス成長だったので、4年ぶりにプラスに転じたこと になる。この増産のおかげで、自動車産業界における雇用 増は5,500人となった。

ちなみに、過去4年間の自動車生産台数の推移をみてお くと、2013年371万台、2014年315万台、2015年 243万台、2016年216万台、となっており、今年2018 年の生産予想は305万台である。

日伯経済関係(観光覚書署名に関して)

ブラジル観光省 HP に日伯観光覚書署名に関する記事が 掲載されている。概要次の通り。

<日伯がパートナーシップを締結>

オンラインビザ導入イベントにおいて、 両国高官が知見の 交換を内容とする文書に署名。

- 1. ベゼーハ伯観光省観光人材育成・観光促進局長及び田村 観光庁長官によって署名された覚書は、両国間の観光客の 往来を増加させるための様々な施策・計画を交換するとと もに、日伯両国間の関係を深めることになる。1月11日に 導入済のオンラインビザに関する記念式典が1月22日(月) 東京にて開催された際に、同覚書は署名された。
- 2. ベゼーハ局長は以下の通り述べた。「海外市場に伯の門 戸を開くための一連の施策の一つを、伯にとって優先順位 が高い日本において導入した。伯を訪問するすべての日本 人は、ビザをオンライン申請することになり、72時間以内 に申請結果を入手することになる。」従来、ビザの申請から 取得まで約40日間を要していた。また、取得費用は92ド ルから 40 ドルに約 70% (原文ママ) 値下げとなる。

- 3.2016年79,700人の日本人が訪伯し、8,130万ドルを伯 国内で消費した。UNWTO(世界観光機関)によれば、オ ンラインビザによってそれぞれ 25% のアップが見込まれる とのことである。すなわち、訪伯日本人は約10万人になり、 伯国内消費額は1億160万ドルとなることが想定される。
- 4. 田村長官は「オンラインビザは訪伯日本人観光客数を大 きく増やすことになるだろう。オンラインビザの導入及び 本日のイベントの成功をお祝いする」と述べた。
- 5. 米国は隣国アルゼンチンに次いで、伯への観光客が多い 国である。最新の統計データによれば、年間 57 万人の米国 人が訪伯し、7億1,050万ドルの消費額となっている。伯 観光省の試算によれば、米国へのオンラインビザ導入によっ て、さらに1億7,760万ドルの観光消費額が増えることが 想定される。

最新の世論調査結果: テメル政権支持率

1月31日、ダータ・フォーリャ社は、テメル政権支持率に関 する最新の世論調査結果 (1月29~30日実施,174都市・ 2826 人対象、許容誤差±2%) を発表した。その内容は 以下のとおり。

- (1) 悪い/非常に悪い:70%(前回調査:71%)
- (2) 普通: 22%(前回調査: 23%)
- (3) 良い/非常に良い:6%(前回調査:5%)
- (4) 分からない: 1% (前回調査: 1%)

ブラジルのOECD加盟に向けた動き: ヌネス外務大臣の寄稿

1月16日付けエスタード・デ・サンパウロ紙に「改革され た OECD における改革されたブラジル」と題するヌネス外 務大臣の寄稿が掲載された。主なポイント以下の通り。

- 1. 各国の利害が相違し、戦後に形成された国際組織の機能 に疑問が呈される状況において、外務大臣としての任期中 の優先事項の一つは、新たな情勢に対応するためブラジル の国際面での参画を高めることである。
- 2. ブラジルは OECD の活動に 20 年以上関与しており、今 日では 20 以上の OECD の委員会審議及び数々の付属機関 の審議にも参加し、2015年には戦略パートナーとして同機 構と協力協定を締結した。ブラジルの継続的な関与を考慮 すると、OECDへの加盟を要請するというテメル大統領の 決断は自然なものである。
- 3.OECD には現在6ヶ国が加盟申請中であるが、ブラジ ルは既に全ての基準をクリアし、OECD の活動に長年関与 してきた歴史があることを強調したい。ブラジルは既に36 の OECD による勧告及び決定を実施し、70 以上の協定等 (instrument) への加盟を要請している。



◆◆◆◆◆◆ 新刊書紹介 ◆◆◆◆◆◆ 『珈琲(コーヒー)の世界史』

(旦部幸博著)

快著『コーヒーの科学』でコーヒー好 きの理系頭脳を唸らせた著者が、今度 は、歴史好きな文系頭脳にコーヒー並 みの覚醒・興奮という薬理効果をもた らす「コーヒー通史」を書きあげた。 コーヒーの発見からイスラム世界~欧 州~世界への普及、はもちろん、昨 今の日本におけるスペシャルティコー ヒー需要も、栽培・生産サイドの各国 別歴史についても薀蓄が語られる。著 者は医学博士であるが、コーヒー特任 博士であることも自ら証明した。 (講談社現代新書 2017年10月 254頁 800円

『老練な船乗りたち』

(ジョルジ・アマード著、高橋都彦訳) ブラジル現代文学コレクション第二 弾。文豪アマードの、社会主義リアリ ズムで一貫した前期作品群とは対照的 に政治色が霧消した後期作品群のなか でも玄人筋の評価が高い小説。副題が 「バイーアの波止場の二つの物語」と なっているように、バイーアの近海や 遠洋で活躍した船長らの冒険談やら恋 愛物語やらが、豊饒な文体で語られる、 アマード流魔術的リアリズム文学作品 だ。1978年に刊行された旺文社文庫 版の改訳版。

(水声社 2017年11月 372頁 3,000円+税)

『ラテンアメリカ 500 年』 (清水透著)

「考える歴史学」を唱え、かつて『コー ラを聖なる水に変えた人々』(1984 年) という画期的なメキシコ史研究書 によって「インディオ証言に基づくリ アルな歴史」叙述を行ったベテラン歴 史学者によるラテンアメリカ史公開講 座の活字化である。ブラジルは、黒人 奴隷問題など部分的に触れられている だけだが、ラテンアメリカ史総体を体 系的にとらえており、読む者を惹き込 む語りの妙味を感得できる作品となっ ている。

(岩波現代文庫 2017年12月 322頁 1,200円

『家宝』(ズウミーラ・ヒベイロ・タ ヴァーリス著、武田千香訳)

ブラジル現代文学コレクション第三 弾。女流詩人・作家ズウミーラ・ヒベ イロ・タヴァーリスの代表作で、芥川 賞ブラジル版といえるジャブチ賞の受 賞作品。女主人公マリア・ブラウリア が少女時代から老女に変わっていくプ ロセスを錯綜的に小説化した作品だ が、全ての登場人物が複数の顔を持ち、 あとがきで「タヴァーリスの濃密で複 合的なテクストをそのまま日本語に置 き換えることは不可能」と訳者が告白 するほどの手ごわい小説だ。

(水声社 2017年12月 141頁 1,800円+税)

『カヌードスの乱』(住江淳司著)

19世紀末バイーア奥地のカヌードス で展開された千年王国運動は政府軍と の軍事対立によって死者2万人以上 という実質的な内戦として終結した。 ノーベル賞作家バルガス・リョサは『世 界終末戦争』においてこの悲劇をフィ クション化して描いたが、本書は日本 における最初の本格的なカヌードス研 究書である。但し、「反乱」は住民側 からでなく政府側が押しつけたもの 故、今日の歴史学では「カヌードス戦 争」と呼称するのが通例となっている。 (春風社 2017年12月 265頁 3,200円+税)

!!「びっくり豆知識」!!

南米のポピュリズム、本当に退潮?

世論調査はあてにならない、と言われるが、こればかりは 気になって仕方がない。ブラジルのルーラ元大統領を「再び 大統領に」と希望する人がいまだに一番多いという。ダタ・ フォーリァの 1月31日の世論調査では、収賄容疑で有罪(二 審)となり10月の大統領選に出馬できないのに、ルーラ氏 の支持率は首位(34%)を維持した。2010年に退任後も、 あのダミ声と笑顔の人気は衰えをみせない。ちなみに最近の 現職テメル大統領の個人支持率は8%という。

ルーラ時代の08年には国民の「最下層」がその数年前の 29%から18%に急減したというから、その階層の支持を集 めているのは間違いない。察するにブラジルの貧困層の支持 は予想以上に根強く、分厚いということだろう。ルーラ、ル セフ両大統領のPT(労働者党)政権は、結果的にバラマキ政 策で経済を悪化させ、リオ五輪後の市町村選挙では惨敗した。

だが両氏を支持した貧困層は「ボルサ・ファミリア」(家 族手当)などを忘れておらず、彼らの集票パワーは無視でき ない。ルーラ人気は摩訶不思議でもないのだ。

ブラジルの証券市場や実業界はルーラ、ルセフ時代の「ポ ピュリズム」を失敗と判断し、今後の支持拡大を警戒してい る。日本の報道でも、「ポピュリズムを封じ込めよ」といっ

た危機意識をあらわにする論調が目立つ。

ポピュリズムは普通「大衆迎合主義」とマイナスイメージ の訳し方をするが、「人民主義」や「大衆主義」と訳した方 がいい。そして、この主義の人たちが「ポピュリスト」だ。 トランプ米大統領が「ポピュリストのようだ」と言われ始め てから、一段と注目されるようになった。実はポピュリズム の発祥地は南米である。1930年代のアルゼンチンのペロン 元大統領による「弱者救済」「労働者寄り」の政治スタイル が始まりだ。

左翼も右翼も交じるポピュリズム。南米でポピュリズムと 言えば、おおむね左翼政党を指し、ボリビア、ベネズエラ、 エクアドル、ウルグアイなどの支配政党がそれにあたる。欧 州では極右の泡沫政党のことを示す場合が多いが、近年ドイ ツ、フランス、イタリアなどの右翼政党がそう呼ばれ始め、「置 き去りにされた人たち | の間で勢力を伸ばしている。

ブラジルがこのまま大統領選挙に突入すると、ボルソナー 口氏でもアルキミン氏でもなく、ポピュリストのルーラ氏に あえて「無効票」を投じる人が続出するのではないか。94 年の総選挙では、亡くなったはずのアイルトン・セナに大量 の「無効票」が流れたが…。(W)



中南米経済速報

経済情報を毎週月曜日にお届けします。地域 経済圏の動き、インフラ整備やエネルギー・ 資源開発、各国のマクロ経済、投資案件、労 働問題などを日本語でお読みいただけます。

■購読料:14,000円/月(税別)

CRONICA (クロニカ)

政治・治安情報を速報でお届けします。月~ 金に速報版を、火・金にレギュラー版を配信 します。社会情勢、犯罪情報、武器密輸、 麻薬問題、自然災害などを取り扱います。

■購読料:30,000円/月(税別)

有限会社イスパニカ

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル

Tel. 03-5544-8335

Fax. 03-5544-8336 Email: hola@hispanica.org

通訳・翻訳、語学研修も行っております

イスパニカ で検索!

hispánica













日本ブラジル中央協会 からのお知らせ

ポルトガル語 春期講座

充実した講師陣により「全くの初心者コース~上級コース」まで全5コース開講予定

当協会では、"楽しく学ぼう!学んで話せるポルトガル語!"をモットーに実用ポルトガ ル語講座を開講しております。春期講座は2018年4月19日~開講。 各コースの詳細、申し込みについては、HPをご参照ください。

■受講料 全13回【会員】32,500円(税込) ※土曜会話クラスは17,500円

場 日本ブラジル中央協会事務所 東京都港区新橋1丁目18-2 明宏ビル本館5階

■申込方法 協会ホームページの申込フォーム(http://nipo-brasil.org/portugal/request/ よりお申込ください。※受付は申込先着順です。

協会イベントのご案内

参加のお申し込みは、協会HP お申し込みフォームにてお願いします



日本ブラジル中央協会・在日ブラジル商工会議所 共催 懇親ゴルフコンペ

日 時: 2018年3月16日(金) 8:30 集合

コース : 高坂カントリークラブ 住 所:埼玉県東松山市高坂1916-1

参加費 : 概算 18.500円/人

キャデイ、雷動カート付きのプレー料金、昼食 (ワンドリンク付き) 飲み放題のパーテイ料金 合計17,000円+参加費(賞品代)1,500円。

演 題:ブラジル政治~歴史から最新情勢を読み解く 講師: 舛方周一郎氏(神田外語大学専任講師)

日 時: 2018年4月23日(月) 14:00~15:30

参加費 : 個人会員1,000円, 法人会員 2,000円, 非会員 3,000円

場 所:新橋レンガ通りホール

住 所:東京都港区新橋2-14-4 マルイト新橋レンガ通りビル4F

交 诵:新橋駅徒歩3分

── 皆様のご入会、心よりお待ちしております ──

法人・個人 🔷 🌘

会 員 数 2018年2月現在 法人会員約125社 個人会員約325名

当協会の活動目的「日本・ブラジル両国間の相互理解、友好関係の促進に寄与する」 にご賛同・ご支援頂ける方に、会員となることをご検討いただければ幸いです。

- 協会会報「ブラジル特報」の無料配布 隔月発行, 年6回配布。
- 2. 会員価格にて、講演会等のイベント、ポルトガル語講座に、 参加できます (会員限定イベントへも参加いただけます)
- 3. 会員交流懇親会へ参加いただけます
- 4. ホームページにて、会員限定情報をご覧いただけます

年会費

入会金は不要です

法人会員 1□ 20,000円 個人会員 1口 10,000円

《日本ブラジル中央協会公式HP》 http://www.nipo-brasil.org 日本ブラジル中央協会 検索

「ブラジル特報」は一部有名書店の店頭でも入手できます。

※その他、詳細はホームページにてご案内します。

ブラジル赴任の前に ビジネスで使えるポルトガル語を

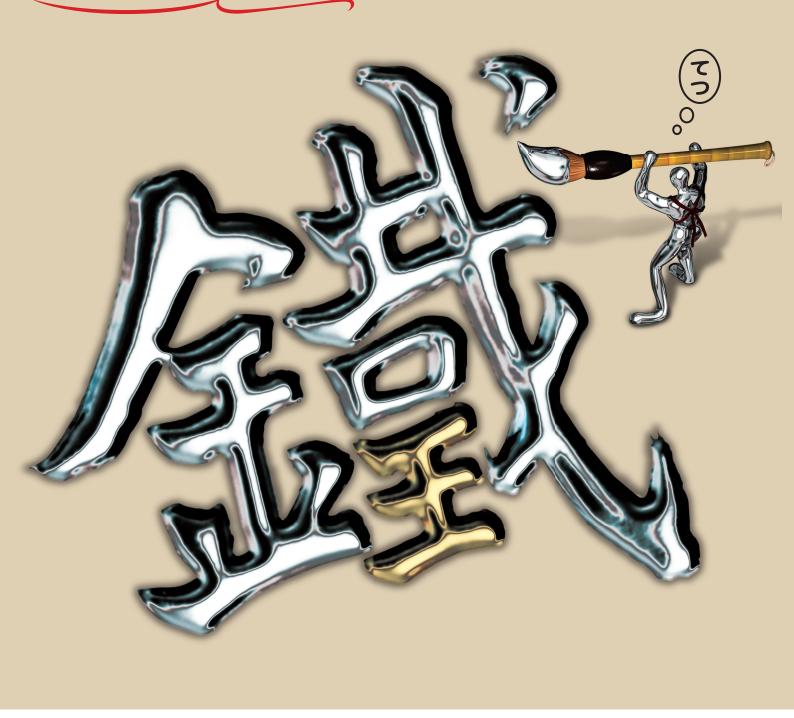


BrAsia(ブレイジア) 運営:株式会社 漢和塾 〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-12 楠本第17ビル5階 TEL03-6263-0716

ಕಠಿ ೬-mail:brasia@kanwajuku.com нр:http://brasia-j.com/







鐵は金属の王なる哉

鉄は文明を開き、社会を支え、そして未来を築くためになくてはならない素材です。 新日鉄住金は世界最高の技術とものづくりの力で鉄の可能性を極限まで追求し、 "総合力世界No.1の鉄鋼メーカー"をめざしています。

だからこそ私たちは、「鐵」の文字の意味合いを「金属の王なる哉」と受けとめ、 総合力世界No.1への意志と誇りをこめて社名ロゴに使用しています。

